

官民をあげて「働き方改革」へ



発行・編集
三建建設業協会
広報委員会
三島市玉川250の2
電話〈055〉975-0332
ホームページ <http://www.misimakenkyo.jp>
発行日 毎月1日

平成29年度定時総会を開催

三建・建災防分会・三島地区協組

三建（小野徹会長）は5月17日、三建大会議室で平成29年度定時総会を開催した。

また、同日建設業労働災害防止協会静岡県支部三島分会（小野徹分会長）と三島地区建設事業協同組合（小野徹理事長）も総会を実施した。

冒頭あいさつに立った小野会長は、最近の新聞報道で、大手建設会社は過去最高の利益を計上するにも、過去最高水準の工事受注残を抱えている状況であるが、一方、我々地方建設業者は、県・市町の仕事が多く、地方自治体の年々の緊縮財政のもとで工事が減少傾向で苦しい経営となっている。こうした大小の格差で、中小人材も集まらず、競争は厳しく、台所は



4月2日付けの読売新聞の編集手帳には、栃木県那須町で起きた登山訓練中の雪崩事故で、登山歴20年以上のベテラン指導者が「今までの経験則」で「絶対に安全と判断した」ことが仇になって、大惨事になった。自然災害は現在、将来を問わず、特に一度痛い目にあっていながら「まさか」という言葉は言えないと書いてある。

沼津・熱海土木所長が講演

総会に続いて、沼津土木事務所所長森田尚孝と熱海土木事務所の植松静夫所長が特別講演を行った。

森田所長は冒頭、2016年度から導入された技術支援制度への協力に対する感謝を表し、「調査不足による変更がかなりあるというのが現状であり、その部分をしっかりと改善すること、落札後にすぐ着手でき、皆さんも助かるような体制になれば良いと私は考えている。今後も三島建設業協会の皆さんには色々と説明した。



森田尚孝所長

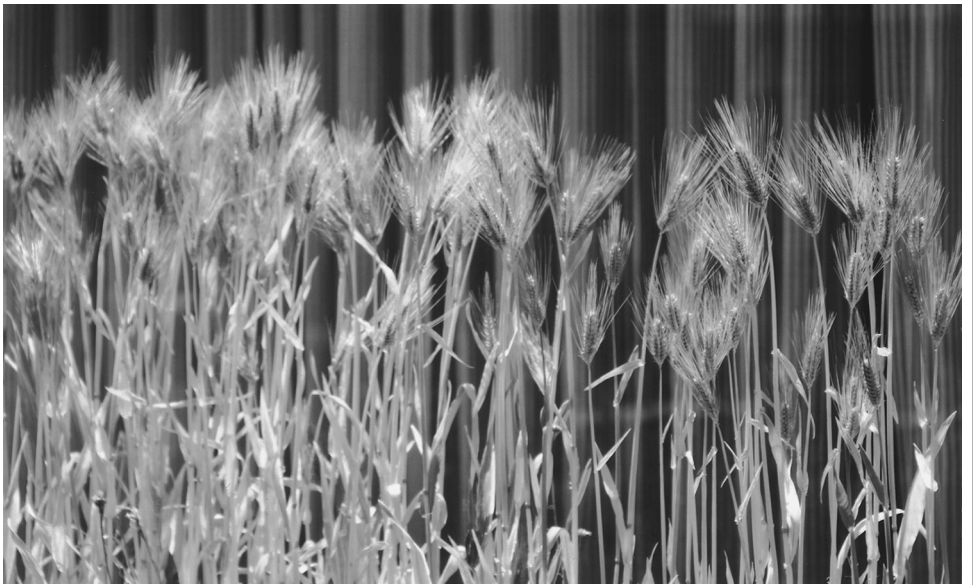


植松静夫所長

として、三建にCDが届き、次第、会員にUSBを配布したいと考えている。

国交省では「建設キャリアアップシステム」を働き方改革の本命として、実現したい意向だ。公共工事積算業務費は上げてきているが、ピーク時には届かない。若い担い手に「頑張れば将来はこうなるんだよ」と言える仕組みを構築しなければなら

道路事業は、約80億円を計上。伊豆縦貫自動車道天城北道路の18年度開通予定に合せて改良事業を進める、(仮称)下船原バイパスや国道136号土肥峠工区を順次実施していく。



首を伸ばした麦の穂が、初夏の日差しを跳ね返す（三島市内 撮影 青木久尚氏）

にどのようなメリットがあるか、はつきりしない。イギリス方式を参考に進めているようだが、イギリスとは違う。イギリスでは親方が技量を証明するが、日本が建設業界に人を集める手

段として現在進行している。なお、県協会は約100万円拠出するが、登録手数料により回収できる見込みである。

国交省は、働き方改革だけでなくそのための手段として「生産性向上」に取組む企業の適正な評価などを経路にどのように反映させるかを検討している。いずれにしても、「生産性向上」、「働き方改革」、「キャリアアップシステム」の動向を注視していく。本日は、決算総会でありますので皆様の建設的な意見をお願いしたいと述べた。

三建（小野徹会長）は5月17日、三建大会議室で平成29年度第1回役員会を開き、総会上程議案等について審議した。

冒頭あいさつに立った小野会長は、5月9日中部地整と県協会正副会長との懇談会があり、本省から技術総括審議官、中部地整からは局長などが出席。局側からは人口減少化において、他産業に負けずに「担い手確保」をするために、IC



次に5月10日の建通新聞にも掲載されたが、国交省が「生産性向上」「働き方改革」を受けて、経営の改正を検討し始め、「建設産業政策会議」に資料を提出し、全中建も意見を求められている。

改正の主な論点は①「生産性向上」に取り組み企業への適正な評価、ICT建機の保有に対して評価することや、②人数や時間で生産性を評価すること、③「働き方改革」に取り組み企業の適正な評価について、従業員の高齢化労働は正に対する点、④「地域貢献」に取り組み企業の適正な評価では「防災協定」を結ぶ企業への加点幅の拡大や、⑤「維持・除雪」等の役務提供を、完成工事高に反映すること、また⑥虚偽申請への罰則の厳格化などが示された。

これとは別に、内閣府から全中建に「行政への入

事故に十分注意し工事を

本年度もぜひ皆様の協力を

植松

植松所長は、管内の熱海梁工や地盤改良、ランプ整備事業を静岡県道路公社とともに進める。

4月末時点で河川・海岸事業は約25億円、砂防事業

道路事業では国道135号の橋梁耐震やトンネル補修が含まれている。十国峠伊豆山線の泉地区には3000万円の予算が付いており、さらに17・18年度の債務で、道路拡幅を行う。河川

予算が付いた。建築関連では、県営住宅七尾団地のモデルに約9800万円が付いており、さらに17・18年度の債務で行ったため、実際にはもっと

大きな予算になる。

伊東市内については、伊東市宇佐美の伊東大仁線記念ケ洞橋の耐震補強に新規で5000万円を計上。伊東大仁線の五輪アクセス道路整備には1億円を計上。用地買収をしながら工事を進めている。港湾関連では、伊東港の白石防波堤延伸に16年度は約1億6000万円の予算が付いており、17年度はまだ調整中だが、億単位の予算が付く見込みとなっている。

「本年度もぜひ皆様の協力をよろしく申し上げます」と締めくくった。

ら全中建に「行政への入



投 稿 俳 句

札・契約に関する手続きの負担感に関する意識調査への協力依頼があった。具体的には経審の手続き、入札参加の手続きで、面倒な点等の意見をいただきました。いずれにしろ7月中旬に開催される中央建設審議会にて取りまとめが行われ、一部はすぐにも動き出すものと推測されると最近の情勢について話し、なお本日は平成28年度の決算総会であり、皆様方から忌憚のない意見を伺いますのでよろしく審議をお願いいたしますと述べた。

議事では、建災防三島分会、三島地区協組及び三建から上程された予算・決算報告について個々に審議。いずれも原案通り承認可決し、総会への上程を決めた。

本堂のきざし（＝階段）
梅雨の雨宿り 日差子
湖（うみ）いろに溶けて半
夏の逆さ富士 日差子
変る枝揺ればひなの首伸
ぼす マサ子
ソダ水グラスに注ぐ泡の
花 礼子
掌（て）の螢こぼれ水草
（みづ）の灯となりぬ 和子
再会を祝ふ、ビールの泡溢る
人生は再考できぬ夕端居 藍子
志高くあれよと雲の峰
人知らぬ胸の奥なるほたる
かな ツトム
野矢（のいばら）の可憐さ
競ふ花の数 斗潮
父の日やビーフステーキ
座せる たつお
ぬばたまの闇の判じ絵沢ぼ
たる 呀栄
山里のひとり住みや実梅も
ぐ 真砂代

役員会・総会上程議案を審議

総務委

三島建設業協会総務委員
会(山本良一委員長)は5
月12日、第2回委員会を開
き、三島建設業協会、三島
地区建設業協同組合及び
建設業労働災害防止協会静
岡支部三島分会3団体の
平成28年度決算などにつ
いて審議した。
冒頭あいさつに立った山
本委員長は「昨年度はロゴ
マーク等重要な議案を審議
していた
だき予定
していた
事業活動
ができて
りがとう
ございま
した。本
日は、総
会上程議
案につ
いて審議
すること
になります
ので、活
発な審議
をよろし
くお願い
します」
と述べた。



三島建設業協会土木・災
害対策委員会(土屋龍太郎
委員長)と静岡県土木施
工管理技士会三島地区(佐
野地区長)は4月24日、
三建大会議室で合同会議を
開き狩野川連合水防演習へ
の参加等について検討した。

第1回合同会議開く 土木・災害対策委、技士会

三島建設業協会土木・災
害対策委員会(土屋龍太郎
委員長)と静岡県土木施
工管理技士会三島地区(佐
野地区長)は4月24日、
三建大会議室で合同会議を
開き狩野川連合水防演習へ
の参加等について検討した。

冒頭土屋委員長は「1年
間の行事予定の確認と5月
14日に開催される狩野川連
合水防演習・広域連携防
訓練等早い
タイミング
での行事が
計画されて
おり、これ
らを中心に
議論してい
きたい」と
あいさつし
た。
佐野地区
長は「年間
行事予定の
確認と5月
18日に熱海
地区で開催
される土木



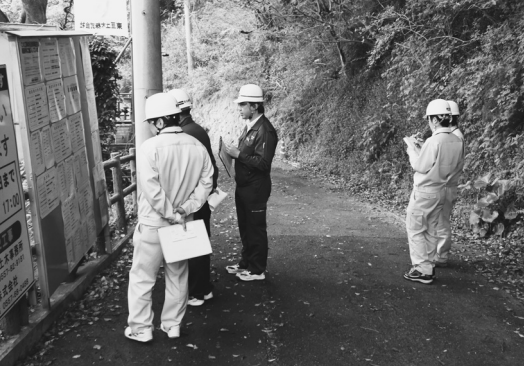
委員会では、三島地区建
設業協同組合と建設業労
働災害防止協会静岡支部
三島分会の平成28年度決算
(案)、事業報告(案)及び
平成29年度予算(案)と事
業計画(案)、また三島建
設業協会の平成28年度の決
算(案)、事業報告(案)
などについて精査し、5月
17日開催の役員会と総会へ
の上程を決めた。
また、例年総会席上行う
委員会表彰対象者(在籍2
年以上にて退任)1名につ
いて、表彰規定に基づき審
議し、推薦することを決め
た。

の日の行事について議論し
ていきたい」と述べた。
会議では、①研修部会
技士会を中心に、東部農林
事務所との研修会、DVD
講習会、優良工事見学会等
の実施②防災部会では中村進
副委員長を中心に事業継続
計画策定支援、静岡県東部
地域道路啓開検討会、狩野
川連合水防演習・広域連携
防災の参加、水防協議会
の対応等の実施③情報部会
は堀口正敏副委員長を中心

熱海土木と合同パト実施

安全委

静岡県熱海土木事務所と
三島建設業協会安全委員会
は4月27日、2017年度
第1回建設事業安全パト
ロールを実施し、熱海市と伊東
市の現場3カ所を10人で巡
回した。
1カ所目は熱海市土多賀
地内の東豆土木が施工する
「平成28年度「第28-I
910-01号」(国)13
5号防災・安全交付金(国
道災害防除)工事(鉄筋挿
入工)」の現場を施工者
の担当者とともに見回った。
その後、伊東市湯川地先の
斉藤組施工の「平成28年度
「第28-W
6
415-01号」
伊東港地方創
生港整備推
進交付金事業
【港湾改修事
業(地方)】白
石防波堤工事
(ブロック製
作工)」と伊
東市宇佐美地
内の三和建設
施工の「平成
28年度「第28-
D7001-
01号」(国)
135号防災・



安全交付金(国道橋梁補修
工事(検査路設置工)(沙
吹高架橋)」の現場を点検
した。
点検は、書類や掲示物の
確認、重機の管理体制や安
全対策などを点検項目に沿
って丁寧に点検するととも
に、現場の担当者らに、第三
者事故を含め災害防止等安全
の徹底を呼び掛けた。
3現場の巡回結果は概ね
良好であった。

歴史よもやま話 172

日本の国技 相撲

和泉 清

平成29年の大相撲春場所
は、横綱鶴鰯の里の千秋楽・
逆転優勝に沸いた。
初場所で17年ぶりの日本
人横綱が誕生、久々に4人
横綱となった最初の場所、
しかも横綱になったばかり
の稀勢の里が前場所に続い
ての連続優勝。場所終盤の
横綱日馬富士との対戦で負
傷し、休場必至と思われて
いたのに怪我を押しして強行
出場し、しかも連勝して優
勝決定戦をも制した強靱な
精神力に多くの相撲ファン

が感動した。
モンゴル出身力士が奮付
上位を占める大相撲で、日
本人横綱が優勝。重ねて横
綱昇進後の最初の場所での
優勝は22年ぶり、貴乃花以
来とあっては当然と言えよ
う。
相撲。その魅力とはなん
だろっか。ある人はそれを
静から動への躍動感である
という。場内が一瞬静まり
かえる立ち合いから、巨漢
同士が首を立てて激突する
肉弾戦へ。この間(ま)こ
そが他のスポーツと異なる
相撲独特のものなのだ。
またある人は、多くの格
闘技がポイント制を取り入
れた現代にあつて、今もな
お「土をつける」「土俵を
割る(こと)」にだわる潔さ
を上げている。相撲が日本
の伝統文化、日本人の死生
観や美学を色濃く残すと言
える所以であらう。
伝承に残る「人」の最古
の取り組みは、相撲の始祖
とされる野見宿禰と当麻蹶
速の天覧勝負で、紀元4世

紀後半(1500年前)に
遡る。そして、時代とも
に相撲は宮中の行事として
行われるようになり、平安
時代には豊作祈願と作柄を
占う神事となった。
武士が天下を握った鎌倉
時代以降、戦国時代につ
相撲は専ら戦いのための鍛
錬(武技)としての性格が
強くなつていった。源頼朝
や豊臣秀吉なども上覧相撲
を催していたことが記録に
残されている。
頼朝の時代、「かわず掛



け」の技を生み出し、相撲
の名手として知られた河津
三郎祐泰(曾我兄弟の父)
を、ご存知だろうか。
歴史上で相撲好きの人物
といえば、まず第一に織田
信長の名があげられる。彼
は幾度か上覧相撲を開催し
勝者を家臣として召し抱え
たほか、今の土俵の原型を
考案したのが信長であると
する説さえあるのだ。

現代につながる大相撲
の仕組みができたのは江
戸時代である。江戸初期、
京都大阪や江戸では、寺
社の造営費用などを捻出
するための興行として勸
進相撲が盛んになり、一
時は幕府が禁止令を出す
ほどであった。
江戸で勸進興行が解禁
されたのは275年前。
寛保2年のことである。
以後春冬は江戸、夏は京
都、秋は大阪で「四季勸

進相撲」が開催されるよう
になった。
この時代、相撲は歌舞伎
と並ぶ庶民の娯楽の華であ
り、谷風・小野川・雷電な
ど的人气力士の登場もあり
力士給は浮世絵の一ジャン
ルとして人気を博した。
俗に四十八手と言われる
相撲の決まり手(現在では
82の技と、技に含まれない
5つの計87ある)が定めら
れ、大関を頂点とする番付
、勝負審判を司る行司(木村
家・式守家に今は無くなつ
た吉田司家・服部家・長瀬
家)も整えられた。
現代も人気力士にはタニ
マチと呼ばれるスポンサー
の存在が知られているが、
江戸時代にも各力士は競つ
て「お抱え力士」を持つて
いた。

『優良産廃処理業者認定制度』静岡県知事認定取得第一号

◆優良認定制度は、優良な産廃処理業者への処理委託を推進することによって排出事業者の環境への配慮を促進する目的で定められています。

全国産業廃棄物連合会『優良事業所』表彰

電子マニフェスト即対応 (JWNET,e-reverse,e-マニフェスト) 工場見学随時受付

SEKI TRANSYS セキトランスシステム

HP <http://www.sekitransys.co.jp>

本 社 / 〒411-0933 静岡県駿東郡長泉町納米里515-1 TEL <055> 988-6868

廃棄物中間処理 セキトランス処理対応 破砕・圧縮・切断・溶融固化	管理型最終処分場 サーマルサイクル施設 焼却処分 埋立指定廃棄物に対応中	クレーン作業
運輸・倉庫	テクパル	
家電リサイクル指定引取場所	住宅設備機器販売	太陽光発電システム販売

JIS工場からより良い製品をお届けします。

コンクリート製品の御用命
の筋は下記の会社へ是非共
お願い致します。

(営業品目)

土木用間知ブロック・道路用製品他

土 屋 建 材 株式 会社

青木コンクリート工業 株式 会社

菅 尾 工 業 株式 会社

営業品目

砕 石・割 栗 石
間 知 石・埋土工事

立岩石材(株) 伊 豆 市 船 原 (0558) 87-0831

二葉建設(株) 御 殿 場 市 新 橋 (0550) 82-2087

サ、キ工業(株) 伊 東 市 萩 城 の 平 (0557) 37-8587

伊豆地区採石業災害防止協議会



土木/解体工事・不動産事業

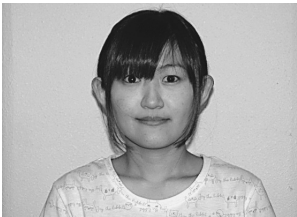
本 社:伊東市富戸1091-7 TEL0557-51-4755
工事部:伊東市吉田920-40 TEL0557-51-4362

産業廃棄物運搬・処分

処分場:伊東市富戸1285-17 TEL0557-51-4722

(株)新光重機土木

三建めぐり

熱海市立上多賀幼稚園
教諭かわもと ちさと
川本千聡さん

～子どもたちに楽しい幼稚園生活を～

幼稚園の先生になりたいです。小学校の卒業文集に書いた夢だ。中学、高校とその夢は変わらなかったが、壁にぶつかり挫折しそうになった時期もあったという。それでも夢をあきらめずに、高校卒業と同時に小田原女子短期大学（現・小田原短期大学）に進学し、幼稚園教諭免許と保育士資格をつかんだ。大切な子どもを預かるプレッシャーはあるものの、「小さいころから夢見た通りの、すごくやりがいのある仕事です」。夢をかなえて6年目を迎える。

今年4月に上多賀幼稚園に赴任し、4

歳児クラスの担任となった。4月から翌3月までの1年間を担任し、子どもたちの成長を見守り、手助けする。「4月にはできなかったことが、1年を通して3月にはできるようになることがあります。子どもたちはこの間、一生懸命に努力し挑戦して過ごします」と語るまなざしは温かくて優しい。

遠足や運動会、学習発表会のほか、誕生会、クリスマス会など、さまざまな年間行事がある。「とにかく子どもたちが楽しい幼稚園生活を送れるようにすることが目標です」。とても楽しかった記憶

があったからこそ、夢見た職業だった。自分と同じような経験を教え子たちにも味わってほしいとの気持ちが笑顔から伝わってくる。

「体力を使う大変な仕事かなあ」とは建設業に対するイメージ。趣味は手芸や絵画。平成3年10月生まれ、25歳。生まれも育ちも熱海市下多賀で現在も在住。



上多賀幼稚園の先生たち（本人中央）

「賞味期限」は、品質の劣化が比較的に遅い食品に示されている「おいしく食べられる期限」であり、それを超えてもすぐに食べられなくなるわけではない。賞味期限を超えた食品については、見た目や臭いなどで判断することである。

「消費期限」は品質の劣化が早い食品に表示されている「食べても安全な期限」のため、それを超えたものは食べないほうが安全である。

簡単に言うと「賞味期限は過ぎてもまだ食べられますよ。消費期限は過ぎたら覚悟して食べなさいよ」と言う事であらう。

私の胃袋は人より丈夫に出来ている。というのも「もったいない」を教育の旗印に私たちを育てた母のおかげだ。思い起こせば母の作る料理には時折、変な臭いや変わった味付けがあった。異議を口にする「馬鹿だね、大丈夫だよ、残さず食べなさい」と叱られた。こうした理不尽な教育方針のおかげで私の強靱な胃袋が育まれたのである。

食品メーカーや小売店などの事業者による食品ロスのおもな原因は、売れ残り、いわゆる在庫過剰や期限切れによる撤去や返品、規格外品など鮮度を重視する消費行動に対応する商習慣が、食品ロスを増加させている大きな原因となっている。外食産業では食べ残しの割合が多いのは宿泊施設で14・8%、次いで結婚披露宴13・7%、宴会10・7%、食堂・レストランが3・2%となっている。

食品ロスを減らすため、世界ではさまざまな取り組みがなされています。たとえばフランスでは、大手スーパーで、売れ残りの食べ物の廃棄禁止という、世界初の法律が施行されたそうである。売れ残った食品はフードパ



『食品ロス』を減らせ

三建広報委員 村上千明

(株)伊豆急ハウジング

伊東市に於いても今年一月タレントのルー大柴さんを招いて『食品ロス』について講演会が開催されました。ルー大柴さんは、NHKの番組「みんなのうた」で「MOTTAI NAII」という歌を歌ったことをきっかけに、この問題に取り組んでいる。その中で「もったいない」食に対して「もったいない」という気持ちを持つことである」と、「ちりも積もればマウンテン」など得意のルー語を交えながら、食品ロスに対してできることを訴え、ユーモアたっぷりの講演でした。

食品ロス削減の観点から、食品ロスを減らすために、商品を小分けにして売る、賞味期限の迫った商品を値下げして売る。また期限が迫っていたりする食品を、福祉施設などへ配る「フードバンク」の活動などが最近増えているようである。

食料不足などの懸念が世界的に高まっている今、食品ロスをいかに減らしていくかは大きな課題である。食品廃棄物を飼料や肥料、エネルギーなどとして再利用することはもちろんであるが、私たち一人ひとりが食料を「買い過ぎず」「使い切る」「食べきる」など、意識改善を行い、食品の無駄を少なくする方法を考えることが重要ではないでしょうか。

日本に於いても、食品ロスを減らすために、商品を小分けにして売る、賞味期限の迫った商品を値下げして売る。また期限が迫っていたりする食品を、福祉施設などへ配る「フードバンク」の活動などが最近増えているようである。

食品ロス削減の観点から、食品ロスを減らすために、商品を小分けにして売る、賞味期限の迫った商品を値下げして売る。また期限が迫っていたりする食品を、福祉施設などへ配る「フードバンク」の活動などが最近増えているようである。

耐重用構造部材、現場省力化商品、鉄筋加工品など特色有る商品群

- ファブデッキ：耐震性、居住性抜群、重量物載荷でもひび割れ無しの構造床材
- FBRリング：閉鎖型せん断補強筋、フラッシュパット溶接で施工性抜群！
- パーメッシュ：異形鉄筋溶接金網、図面で割り付け、現場は置くだけ！
- SHC：熱間成形コラム、鉄本来の粘りを持った新発想の柱材・・・etc、詳しくは、当社営業までお問い合わせください。

ねじ1本からプラント用部材、
高層ビル用鉄骨材料まで
鉄の百貨店

柔軟な発想で鉄の未来をつくる

近藤鋼材株式会社

URL: <http://www.kondo-kouzai.co.jp>メール: mail@kondo-kouzai.co.jp

沼津営業所 ☎ <055> 925-1900
FAX <055> 925-1970

静岡営業所 ☎ <054> 256-1200
FAX <054> 256-1220

伊豆営業所 ☎ <0558> 87-0500
FAX <0558> 87-1000

●JIS工場からより良い製品をお届け致します。

静岡県東部生コンクリート販売協同組合

事務所 沼津市足高338-1 電話 <055> 925-3344(代)
FAX <055> 925-3317

■組 合 員

(株)イワタ沼津工場 二葉建設(株)生コン部

東宏生コンクリート工業株式会社 静岡生コン(株)

三島生コン(株) 野村マテリアルプロダクツ(株)伊豆さくら工場

(有)高田建材 裾野生コン(株)

(株)しょうじ建設函南生コン 渡邊工業株式会社 第一生コン工場

小野建設株式会社 (株)タカムラ生コン

修善寺生コン工場 (株)古藤田生コン

有限会社長岡生コンクリート (株)広川生コン

新スルガ生コン(株)



開会式に臨む三建土木・災害対策委の土屋委員長ら

三島市長伏の狩野川河川局や静岡県、流域8市町を数え、メイン会場、静岡市清水港をサテライト会場とした狩野川連合総合水防演習・広域連携防災訓練が5月14日に開催された。主催の国土交通省中部地方整備局や静岡県、流域8市町をはじめ関係49機関から約1600人が参加し、43項目の訓練に取り組んだ。

メイン会場では、狩野川流域で過去最大級の台風で、ある狩野川台風が接近しているという想定にて実施。建設業界からは沼津建設業協会（渡邊雄一会長）、三島建設業協会（小野徹会長）、静岡県コンサルタツツ協会（森崎祐治会長）などに参加した。

このうち、三島建設業協会は、島建設業協会は、災害・災害復興活動、がれきの旧に総力を



200部用意した「三建だより5月号」が全てなくなった三建の展示ブース

最近『食品ロス』の話題を良く聞く。売れ残りや食べ残しなど、本来食べられるはずの食品が廃棄されてしまう『食品ロス』。今、この食品ロスを削減していくと取組が広がっている。

いまだ日本では、一年間に632万トンもの食品ロスが発生しているそうである。これは、世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食料援助量（平成26年度年間320万トン）を大きく上回る量で、日本人一人当たり一杯分約136gの食べ物（毎日捨てられている計算）となります。

632万トンの食品ロスのうち家庭から出されるのは302万トン、食品メーカーや小売店などの事業者による食品ロスのおもな原因は、売れ残り、いわゆる在庫過剰や期限切れによる撤去や返品、規格外品など鮮度を重視する消費行動に対応する商習慣が、食品ロスを増加させている大きな原因となっている。

伊東市に於いても今年一月タレントのルー大柴さんを招いて『食品ロス』について講演会が開催されました。ルー大柴さんは、NHKの番組「みんなのうた」で「MOTTAI NAII」という歌を歌ったことをきっかけに、この問題に取り組んでいる。その中で「もったいない」食に対して「もったいない」という気持ちを持つことである」と、「ちりも積もればマウンテン」など得意のルー語を交えながら、食品ロスに対してできることを訴え、ユーモアたっぷりの講演でした。

食品ロス削減の観点から、食品ロスを減らすために、商品を小分けにして売る、賞味期限の迫った商品を値下げして売る。また期限が迫っていたりする食品を、福祉施設などへ配る「フードバンク」の活動などが最近増えているようである。

食料不足などの懸念が世界的に高まっている今、食品ロスをいかに減らしていくかは大きな課題である。食品廃棄物を飼料や肥料、エネルギーなどとして再利用することはもちろんであるが、私たち一人ひとりが食料を「買い過ぎず」「使い切る」「食べきる」など、意識改善を行い、食品の無駄を少なくする方法を考えることが重要ではないでしょうか。

日本に於いても、食品ロスを減らすために、商品を小分けにして売る、賞味期限の迫った商品を値下げして売る。また期限が迫っていたりする食品を、福祉施設などへ配る「フードバンク」の活動などが最近増えているようである。

食品ロス削減の観点から、食品ロスを減らすために、商品を小分けにして売る、賞味期限の迫った商品を値下げして売る。また期限が迫っていたりする食品を、福祉施設などへ配る「フードバンク」の活動などが最近増えているようである。

狩野川連合総合水防演習

広域連携防災訓練に1600人

三島市長伏の狩野川河川局や静岡県、流域8市町を数え、メイン会場、静岡市清水港をサテライト会場とした狩野川連合総合水防演習・広域連携防災訓練が5月14日に開催された。主催の国土交通省中部地方整備局や静岡県、流域8市町をはじめ関係49機関から約1600人が参加し、43項目の訓練に取り組んだ。

メイン会場では、狩野川流域で過去最大級の台風で、ある狩野川台風が接近しているという想定にて実施。建設業界からは沼津建設業協会（渡邊雄一会長）、三島建設業協会（小野徹会長）、静岡県コンサルタツツ協会（森崎祐治会長）などに参加した。

このうち、三島建設業協会は、島建設業協会は、災害・災害復興活動、がれきの旧に総力を

最近『食品ロス』の話題を良く聞く。売れ残りや食べ残しなど、本来食べられるはずの食品が廃棄されてしまう『食品ロス』。今、この食品ロスを削減していくと取組が広がっている。

いまだ日本では、一年間に632万トンもの食品ロスが発生しているそうである。これは、世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食料援助量（平成26年度年間320万トン）を大きく上回る量で、日本人一人当たり一杯分約136gの食べ物（毎日捨てられている計算）となります。

632万トンの食品ロスのうち家庭から出されるのは302万トン、食品メーカーや小売店などの事業者による食品ロスのおもな原因は、売れ残り、いわゆる在庫過剰や期限切れによる撤去や返品、規格外品など鮮度を重視する消費行動に対応する商習慣が、食品ロスを増加させている大きな原因となっている。

伊東市に於いても今年一月タレントのルー大柴さんを招いて『食品ロス』について講演会が開催されました。ルー大柴さんは、NHKの番組「みんなのうた」で「MOTTAI NAII」という歌を歌ったことをきっかけに、この問題に取り組んでいる。その中で「もったいない」食に対して「もったいない」という気持ちを持つことである」と、「ちりも積もればマウンテン」など得意のルー語を交えながら、食品ロスに対してできることを訴え、ユーモアたっぷりの講演でした。

食品ロス削減の観点から、食品ロスを減らすために、商品を小分けにして売る、賞味期限の迫った商品を値下げして売る。また期限が迫っていたりする食品を、福祉施設などへ配る「フードバンク」の活動などが最近増えているようである。

食料不足などの懸念が世界的に高まっている今、食品ロスをいかに減らしていくかは大きな課題である。食品廃棄物を飼料や肥料、エネルギーなどとして再利用することはもちろんであるが、私たち一人ひとりが食料を「買い過ぎず」「使い切る」「食べきる」など、意識改善を行い、食品の無駄を少なくする方法を考えることが重要ではないでしょうか。

日本に於いても、食品ロスを減らすために、商品を小分けにして売る、賞味期限の迫った商品を値下げして売る。また期限が迫っていたりする食品を、福祉施設などへ配る「フードバンク」の活動などが最近増えているようである。

食品ロス削減の観点から、食品ロスを減らすために、商品を小分けにして売る、賞味期限の迫った商品を値下げして売る。また期限が迫っていたりする食品を、福祉施設などへ配る「フードバンク」の活動などが最近増えているようである。

小窓

によるものが330万トンです。

私の胃袋は人より丈夫に出来ている。というのも「もったいない」を教育の旗印に私たちを育てた母のおかげだ。思い起こせば母の作る料理には時折、変な臭いや変わった味付けがあった。異議を口にする「馬鹿だね、大丈夫だよ、残さず食べなさい」と叱られた。こうした理不尽な教育方針のおかげで私の強靱な胃袋が育まれたのである。

食品メーカーや小売店などの事業者による食品ロスのおもな原因は、売れ残り、いわゆる在庫過剰や期限切れによる撤去や返品、規格外品など鮮度を重視する消費行動に対応する商習慣が、食品ロスを増加させている大きな原因となっている。

伊東市に於いても今年一月タレントのルー大柴さんを招いて『食品ロス』について講演会が開催されました。ルー大柴さんは、NHKの番組「みんなのうた」で「MOTTAI NAII」という歌を歌ったことをきっかけに、この問題に取り組んでいる。その中で「もったいない」食に対して「もったいない」という気持ちを持つことである」と、「ちりも積もればマウンテン」など得意のルー語を交えながら、食品ロスに対してできることを訴え、ユーモアたっぷりの講演でした。

食品ロス削減の観点から、食品ロスを減らすために、商品を小分けにして売る、賞味期限の迫った商品を値下げして売る。また期限が迫っていたりする食品を、福祉施設などへ配る「フードバンク」の活動などが最近増えているようである。

食料不足などの懸念が世界的に高まっている今、食品ロスをいかに減らしていくかは大きな課題である。食品廃棄物を飼料や肥料、エネルギーなどとして再利用することはもちろんであるが、私たち一人ひとりが食料を「買い過ぎず」「使い切る」「食べきる」など、意識改善を行い、食品の無駄を少なくする方法を考えることが重要ではないでしょうか。

日本に於いても、食品ロスを減らすために、商品を小分けにして売る、賞味期限の迫った商品を値下げして売る。また期限が迫っていたりする食品を、福祉施設などへ配る「フードバンク」の活動などが最近増えているようである。

“水”と“空気”と“環境”の良い住い作りに
花のある快適な暮らしのお手伝いをします。

総合設備設計・施工

(沼津市三島市及び近隣市町指定工事店)

株式会社 大石設備 “DAISETSU”

代表取締役 大石 千鶴子

本社／沼津市大岡525-7 TEL<055>962-7216

FAX<055>963-4879

三島支／三島市錦ヶ丘3-12 TEL<055>975-7928

E-mail:daisetsu-soumu@krf.biglobe.ne.jp

創業100年・最新技術・末永いサービス
省エネと生活環境の向上を提供

空調・給水・給湯・衛生・上下水道・防災設備・設計・施工



片野設備株式会社

代表取締役社長 片野 彰一

ISO 9001
認証取得

〒411-0035 静岡県三島市大宮町3-3-12 TEL 055-971-2205(代) FAX 055-973-5246

E-mail: info@katanosetubi.co.jp URL <http://www.katanosetubi.co.jp>